

岸広報

岸連合自治会・岸地区福祉協議会
〒258-0112 足柄上郡山北町岸2061
発行責任者 渡辺 良孝
編集責任者 茂木 異

岸地区を歩く《昭和12年豪雨被害・宿の記録》

過去の災害の記憶を語り継ぐこと…災害に備える知識として大切です

各地で豪雨被害が続発しています。山北町も過去に豪雨被害を受けています。1937年(昭和12年)7月14日～17日の豪雨(三保の総雨量は683.4mm)で、湯坂、日向、宿は土石流に襲われました。この被害の記録は戦争の為に少なく、提供された写真と当時を知る方の証言を基に、宿の被害を記録しました。

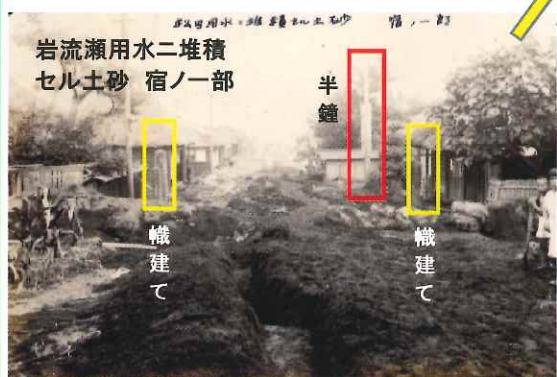


越地の原から川村用水が溢れ、道路が濁流となって石積みを崩し、洞海堀の土石流と重なり、川西屋脇の橋を越えて、土石流が宿中に流れ込みました。

土石流で橋が埋まり、流れを遮断された岩流瀬用水と洞海堀の土石流は、付近一帯の水田を覆い、泥沼と化す大きな被害を受けました。



越地の原と東光院や般若院の参道から土石流が流れ込み、土砂が渦高く堆積したために、道の両側に土砂を寄せて、真ん中を通れるようにするのに困難を極めたと言います。人が集まっている所(川西屋の脇)は岩流瀬用水の橋の横です。中央右に半鐘が見えます。



中央は川西屋脇の用水の橋で、堆積した土石流の真ん中を水抜きに搔き出し、右にスコップで作業している人がいます。道の両側に八幡神社の横建て、その奥に半鐘が見えます。(横建ては現在は右側のみです)



参考文献等 山北町史通史編 神奈川の気象百年 越地・宿の方々の証言(湯坂・日向の記録は岸広報第146号に掲載)



カメラ散策

センニンソウ



アレチハナガサ



ユウゲショウ

久し振りに、ゆっくり道を歩いてみました。足下を見ると、夏の草が意外にかわいい花を咲かせていました。
センニンソウ アレチハナガサ ユウゲショウ それぞれに趣のある名前がついています。夏は草との戦いの季節ですが、心にゆとりがあったら、野に咲く小さな花にも思いを馳せてみませんか。

“フラワーロード”の植栽活動が国土交通大臣から表彰

班目

班目自治会は“フラワーロード”の植栽活動の貢献により、国土交通大臣から第32回「みどりの愛護」功労者に選ばれました。

9月25日に、横須賀市で開催の「全国みどりの愛護のつどい」で表彰される予定でしたが、コロナ禍で式典が中止となり、このほど石田文也自治会長に表彰状が届けられました。

“フラワーロード”は、季節ごとの花の植栽で、通行する人々を楽しませてきています。

長年の活動への表彰の知らせに、地元では喜びの声が広まっています。



車両通行時の待避所が延長 湯坂



湯坂の防災倉庫手前の工事が6月末に完了し、2019年(令和元年)に完成した車通行時の待避所が延長され、計画された3カ所の待避所が整備されました。

湯坂では「次世代も住みたい街に」の声を受けて、2015年(平成27年)に「地区町道検討委員会」を設置して協議を重ねてきましたが、現状では町道の拡幅が困難との判断から、待避所の設置を計画し、関係者の合意形成と町への要望に取り組んできました。

この取り組みは、地区要望を実現した成功例として、高い評価をされています。

恒例の菊まつりを開催 八幡神社奉賛会

菊まつり

10月30日(土)

から

11月3日(水)

八幡神社境内



毎年恒例の「菊まつり」が、八幡神社の境内で八幡神社奉賛会の主催で行われます。今年も見事に咲いたざる菊を前に、多くの方に見に来ていただけないと、関係者は心待ちにしています。

八幡神社奉賛会は、平成19年に八幡神社の新社務所が完成した折に、移転や建設に携わった地元の関係者や役員が中心となって平成20年に設立され、現在は20名の会員で運営されています。

「菊まつり」は、社務所と参道の整備を記念して、参詣の方々に楽しんでいただくよう、平成22年秋から始められました。

回を重ねて秋の地域行事として定着し、収益の一部は神社に奉納されているそうです。

会では、ざる菊の栽培と共に、近隣などの神社参拝の研修会もされています。

稻荷社で「納めの仕舞い稻荷祭」 南原

9月12日(日)に南原の稻荷社で、「御靈返しの納めの仕舞い稻荷祭」が行われました。

永く地域で祀られた稻荷社ですが、世代交代による負担の軽減と、祭事の自然解消を避けるため、自治会の祭典委員会であり方を検討してきました。

当日は、地域の多くの方が感謝の言葉を胸に最後の参拝をされ、寒田神社の敷田宮司が「御靈返し」の式事を執り行いました。

10月17日には、「御靈抜き」後の社と鳥居を納める「遷座式」(移設)を、東光院の住職に行っていただき、東光院境内の稻荷大社に移設することになります。



サンポトロールで川村小学校と意見交換

6月のサンポトロールの意見交換会は、コロナ禍により書面開催となりましたが、書面で通学路の注意箇所などの意見が寄せられました。

内容は「劣化したブロック塀にぶら下がる」「ひざけて転んだり」「8時15分を過ぎて遊びながら登校する子がいる」「登校時間を過ぎて1人で登校する児童を校門まで送った」というものでした。

この意見を受けて、7月16日に岸連合自治会の正副会長が川村小学校と意見交換を行いました。

川村小学校は、意見交換後に現地を見回り、通学路の安全点検を行ったとのことです。

地域の皆様には、引き続き子ども達の安全な見守り活動をお願いします。

サンポトロールとは、散歩や外出時に子ども達が犯罪などに巻き込まれないよう見守りを行う、岸地区青少年健全育成会の協力者の活動です。

新規に協力いただける方は、各自治会役員にお知らせください。



「サンポトロール」
協力者が携行する帽子



賛助会員企業紹介②

各企業の皆様の取材へのご協力に感謝申し上げます。
文及び写真は広報部で編集しました。掲載は順不同です。

今泉建設(株)

社長 今泉 美智子さん

明治29年に東海工業合資会社を、東京芝で創業し、山北出張所が山北駅構内にありました。



足柄上郡役所当時の営業許可証



山北駅構内の出張所(当時)

当時は全国の鉄道整備が進められた関係から、各地の鉄道工事に携わり、鉄道の町・山北を本拠地として、社名を今泉建設に改称し今に至っています。

現在は民間工事と公共工事を行い、仕事に誠心誠意を尽くし、地域に根差した企業を目指にされています。

「信用される仕事をする社員が財産で感謝しています」と話され、また、地域と繋がれる行事の場を大切にされているそうです。

(有)尾崎水道工事店

社長 尾崎 幸雄さん

先代が水道工事業を始め、会社設立から42年。車の技術職から家業を継ぎ、親子3人で仕事をしています。

道路の管工事から個人宅の水道工事やリフォームまで、水道関係のことは何でも行っています。岸地区唯一の水道工事店として、緊急を要する工事は、通報で何時でも応じているとのことです。

一昨年の町浄水場の台風被害では、昼夜なく復旧工事に当たりました。大水や台風の時は特に忙しいそうです。

社長は昨年までは八幡神社地区総代、長男の峰幸さんは消防団員として、地域と深く繋がった活動をされています。



(有)杉本自動車整備工場

社長 杉本 憲巳さん

杉本商事勤務を経て整備工場で技術を習得し、昭和57年に安戸トンネル脇で自動車整備工場を開業しました。



仕事は自動車の整備と販売ですが、中古車の展示販売も行い、販売した車は最後まで責任をもつことを社訓にしています。国道沿いの立地から、遠出の故障車の修理も多く、顧客の範囲は広いそうです。

東日本大震災の時は、県自動車振興会足柄支部長として、宮城県石巻市に21台の車を運搬し寄贈しました。

岸在住の関係から賛助会員になられています。

府川畳店

店主 府川 智之さん

江戸時代末期創業(1810年頃)の老舗8代目が、一人で切り盛りをしている作業場で話を伺いました。

畳の種類には、重量を軽くするため、畳床の中間に軽い素材を挟み軽量化を図っているもの、床暖房専用、スプリングの入った介護用など、多種・多様です。



畳表も、最近流行りの市松模様、カラー(和紙の素材で撥水加工)等さまざまです。



現在、和室が減少傾向の住宅事情の中で、気軽に作業場に立ち寄っていただき、畳の良さを実感して欲しいと話されていました。

(協)ロジ・ワイン

専務理事 佐藤 一英さん

2019年10月から協同組合組織(組合員3社)の「ロジ・ワイン」として事業活動をしています。

事業内容は倉庫業で、保管作業及び流通加工(流通の過程で商品の付加価値を高めるために施す加工全般)業務をメインに行ってています。

この場所に在った前の企業の建物をそのまま活用し、使い易いように改修して使用しています。昨年10月に着工した新しい倉庫が9月に完成し、10月から湘南物流センターとして本格稼働しました。当センターが物流拠点として、地域の活性化に繋がればと期待されているそうです。



(株)コメリ

店長 望月 良将さん

全国展開しているホームセンターで、山北に2014年(平成26年)3月にオープンし、今年で8年目になります。



金物、工具、園芸、植物、農業資材等々、地域の皆様が必要とされる商品をお求めやすい価格で、安定的に提供することを目標にしており、住まいのコンビニとして気軽に利用して欲しいとのことです。

最近はコロナ禍の影響で、DIYや家庭菜園を始める人が増え、その関連商品を買い求める人が多くなったということです。今後もお客様のニーズに応える店づくりを心がけ、「豊かで快適な暮らし」のお役に立ちたいと話されていました。

情報コーナー

もしも…に備えて ローリングストックのすすめ

ローリングストックとは? 普段食べている物を少し多めに備蓄し、食べたらその分買い足すという考え方です。災害時など食料調達が難しい場合に家庭に備蓄があれば安心です。

食料・水を多めに備蓄



ローリングストック 食品選び3ポイント

- ①食べ慣れていて、好きな味であること
- ②常温保存可能で食べきりサイズのもの
- ③ガスや電気停止時にも調理可能、食べられるもの
具体的には…レトルト粥、野菜ジュース、さば缶、あさり缶、焼き鳥缶、ようかん、ドライフルーツ、ナッツ類など
水は1日1人3ℓが目安です。



～あると便利な日用品～

カセットコンロ＆ポンベ ポリ袋 はさみ
缶切り 割箸 紙皿 アルミホイル ラップ
ペーパー類 ウェットティッシュなど



高齢者、乳幼児、アレルギーをお持ちの方など家族の状況によって必要なものを見直しましょう。

問合せ:健康福祉センター(保健健康課健康づくり班)75-0822

防災・減災メモ 命と暮らしを守るために

岸連合自治会は高齢者いきいきセンターに風水害時の要望で一時避難所を開設します

一昨年の台風被害で、避難先に苦慮した岸住民の事例を受けて、自治会長会議で協議を重ね、施設利用と運営方法を定め、いきいきセンターに風水害時の一時避難所の開設を決めました。受け入れ用に大型テントや家族向けテントなどを備蓄しました。

一時避難所を開設する基準（開設の条件）

- ・風水害の恐れがあるて避難が必要なとき
- ・町が避難所を開設していないとき
- ・避難の要望が各自治会長になされたとき

一時避難所を開設するまでの流れ（手順）

避難希望者が自治会長に開設を要望（避難要望）

自治会長が連合自治会長に要請（連絡・判断）

一時避難所を開設 避難者の受け入れ（開設）

- ・食料など必要な物は持参する
- ・避難所の運営ルールを守る

自治会の運営補助 避難者間の協力（避難生活）

避難所の閉鎖 町が避難所を開設したとき
・避難の状況が改善されたとき

お知らせ・今後の日程

12月 5日(日) ふれあい交流会(中止)

1月 6日(木) 消防出初式

1月 9日(日) どんど焼き

1月 (未定) 岸新春のつどい

※コロナ禍により行事に変更の場合があります。

初めまして赤ちゃん



原 一凌真(いりま)ちゃん

保護者 茂徳・沙織さん(湯坂)
たくさん食べて、寝て、遊んで、
ニコニコ笑顔で元気いっぱいに
すくすく育ってね!!!

避難所の開設訓練を実施

越地



9月5日(日)に越地自治会は、いきいきセンターで避難所開設訓練を行いました。

訓練は、自治会が購入したマットと岸連合自治会が備蓄する家族向けテントを組立て、避難所開設の手順と、避難所利用の注意事項の説明と確認が行われました。

訓練は3密を避ける分散参加で行われ、各回共に、開設を要望する伝達の仕方を確認し合いました。

倉庫などの資材を更新

岸連合自治会

町の補助金も活用して、老朽化した倉庫を買い替え、多目的利用を図る映像と音響設備を更新しました。新倉庫は用途別の収納で使い易くなりました。



情報提供のお願い 岸地区の古い写真や記録など



岸連合自治会の倉庫の買い替え時に、旧倉庫から大きな鏡（姿見）が出てきました。

聞き取りにより、大正期の岸公会堂落成の寄贈品と判明し、センター利用者の観賞と姿見の活用に、大鏡をホールに取り付けました。

歴史を語り継ぐために、岸の古い街並みや生活を記録した写真など、資料の提供をお願いします。各自治会役員にお知らせ下さい。

編集後記

57年ぶりのオリンピック・パラリンピックは、開催の是非を含め新型コロナの感染拡大と隣り合わせの大会でしたが、多くの競技が無観客となり閉会しました。

今号は、近年相次ぐ豪雨被害に備えて、昭和12年の豪雨による宿の被害記録を掲載しました。岸広報をお読みいただき、皆様のご意見をお寄せいただけますと嬉しいです。